

若手・女性研究者奨励金にご支援を賜りました
寄付企業法人や寄付者の皆様へ



受賞者から御礼の言葉

2020年度（第3回）女性研究者奨励金 受賞者

森 真美子

北里大学 理学部 助教

〔研究課題名〕

癌細胞の運動制御機構の解析

－癌細胞の悪性化におけるRacGAP因子の役割の解明を目指して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

2020年度 女性研究者奨励金に採択いただき感謝申し上げます。

本奨励金により、ARHGAP22の生理学的機能について重要な結果を得ることができました。

新型コロナウイルスの感染拡大の中、研究を進めるのが困難な状況下ではありましたが、限られた時間を有効に活用することができたのも本奨励金のおかげでございます。

一度企業に就職し研究から離れていた身であり、再び研究を始められるか非常に不安でありましたが、本奨励金のご支援により研究を始めることが叶いました。

今後も女性研究者の活躍のため、奨励金のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

千崎 美恵

白百合女子大学 人間総合学部 助教

〔研究課題名〕

乳幼児を持つ父親・母親の被養育経験が虐待不安に及ぼす影響
－夫婦の関係性に注目して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は女性研究者奨励金を頂きまして心より感謝申し上げます。

本奨励金により大掛かりなオンライン調査を実施できたことにより、子育て支援の対象として見過ごされてきた育児に対する困難感を抱える父親に関する心理的検討と、夫婦の関係性に着目した支援の視点を提案することが可能となりました。

筆者自身としても、本研究の知見を現場に還元するとともに、地域支援の実践へのモチベーションを高められ、更なる展開へのきっかけとなりました。社会全体で子育て家庭を支えることが求められています。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

江良 智美

帝京平成大学 現代ライフ学部 助教

〔研究課題名〕

1980年代のファッション・メディアとしての歌謡番組

－テレビ放送が若者の服飾文化を牽引した時代とその影響力－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は本研究に対するご支援をいただき、誠にありがとうございました。

感染症予防のために自宅で過ごすことが多かった2020年度、私たちは映像作品によってリフレッシュした時間も多かったと考えます。同時に外出することが減り、着ることの本質的な意味が問われた時間でもありました。映像作品や服飾を改めて私たちが創り出した文化として再認識することは、それらに携わる方々の情熱を知り、敬意を持って受け取るきっかけになると考えます。こうした文化的な活動は生きる楽しみを創出する存在であると私は考え、長い道程ではありますが研究活動を続けていきたいと考えております。

土屋 マチ

山梨英和大学 人間文化学部 講師

〔研究課題名〕

無意識で働く防衛機制を捉えるためのマニュアル作成
－TATプロトコル分析を通して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

医学の領域における血液検査や画像診断は、身体における異変の発見や確定診断に活用されている。心理臨床の領域で心を映し出す際、血液検査や画像診断に代わるものの一つは、心理検査であり、心理アセスメントにおいて、心理検査はその重要な中核的役割を担っている。投映法による心理検査については、その信頼性と妥当性などの面において疑問視する声があることは事実であるが、その手法は臨床心理学の領域において確固たる地位を確立しており、私自身も投映法が、パーソナリティを多面的にアセスメントでき、実際の臨床の場で優れた切れ味を発揮するものであることを経験してきた。

私にとっての身近な存在である投映法検査であるが、その中でもTATの臨床的利用に関してのマニュアルを作成するという本研究に対して、奨励金の助成対象としていただき、本研究に取り組むことができた。

日本私立学校振興・共済事業団の関係者の皆様、ご支援いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

今後も「これからの展望」に繋がっていくような形で、研究を続けていきたいと考えている。

守谷（森棟）せいら

中部大学 工学部 講師

〔研究課題名〕

グラフェンを用いたポリアミド6の高性能化に関する研究

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究は、私学事業団のご支援により遂行できたものであり、心より感謝の意を表します。

また、コロナ禍により、研究が一時的に中断するなどのアクシデントにも見舞われましたが、無事研究をまとめることができましたのも、ひとえにご支援の賜物と感じております。改めて感謝申し上げます。

本研究では、従来より困難とされてきた高分子とナノカーボンの複合化手法を新たに開発し、優れた物性を付与することに成功いたしました。本研究ではポリアミド6と酸化グラフェンという組み合わせでの複合化でしたが、この技術は他の材料にも適用可能です。したがって、今後の高分子系ナノ複合材料の発展に大きく寄与いたします。また、この技術により完成する材料は、自動車産業のみならず航空宇宙産業や電子電機産業などさまざまな産業分野にも展開が可能であり、未だ高分子系材料の利用例が少ない電子電機機器への応用も可能となります。したがって、高分子ナノ複合材料の可能性を大幅に拡張し、省資源・省エネルギー・環境負荷低減の立場での材料開発においても有用であり、持続可能な社会の実現に大きく貢献すると考えられます。

田村 佳世

愛知文教女子短期大学 幼児教育学科 講師

〔研究課題名〕

食物アレルギー対応に関する保育者の思いと課題

－子どもも保育者も安心して楽しい給食を目指して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

今回この助成をして頂いたおかげで、日本乳幼児教育学会第30回大会（令和2年11月14、15日開催）での発表及び、昨年度の研究内容を日本保育学会第74大会（令和3年5月15、16日開催）にて発表など、研究計画に基づき結果をだすことができました。

この一年間はこれまでとは全く異なり、予測不可能なことばかりだったため、毎日の生活や授業をこなすことだけでも疲弊していましたが、本奨励金により背中を押して頂き、自分自身にとっては新たな研究方法（テキストマイニング）、視点を得ることができました。

誰かのサポート、応援、支援があることがこんなにも心強く、実際に行動に移す勇気と力になることを実感し、大変感謝しております。今後もこの経験を活かし、ピンチこそチャンスと前向きに、積極的に保育、教育に研究者として貢献し、これまで支えてくださった皆様へ恩返しをしていきたいと思っています。

ありがとうございました。

城所 比奈子

同志社大学 生命医科学部 研究開発推進機構 助教

〔研究課題名〕

心臓捻転を支える左右非対称な細胞挙動を駆動する分子機構
－4Dイメージングで捉える細胞と分子の非対称な振る舞い－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は女性研究者奨励金をいただき御礼申し上げます。

今回支援をいただいた事で解析を大きく進める事ができました。

昨今は短期間で応用へ結びつく分野に研究費が集中しやすく、所謂基礎研究や学術研究は資金を得難い状況です。そのような状況下で、研究計画を評価していただけたことは日々の研究の励みになりました。

本研究は私達の身体や器官がつくられる際に、普遍的に細胞が示す挙動の制御メカニズム解明に取り組んでいます。細胞の挙動はこれまで培養細胞系を用いて、プラスチックディッシュの中で起こることを中心に詳細な研究が行われてきました。しかし生体内での環境や細胞の振る舞いはもっとずっと複雑です。生体内で実際に起こっていることを生体イメージングによって直接可視化する本研究のアプローチは、形づくりの原理理解に大きく貢献し、将来的に心臓やその他の臓器を人工的に創り出すなどの医療分野への応用も期待されます。

宮本 直美

大阪千代田短期大学 幼児教育科 講師

〔研究課題名〕

就学児の「読み」困難におけるスクリーニングシステムの構築

－就学児への「読み」スクリーニング検査作成における基礎的研究－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

今回の学習指導要領の改定では、重要事項として初等中等教育の一貫した学びの充実が挙げられています。特に、学習が始まる小学校において、幼稚園等の就学前施設からの学びの連続性を大切にし、学びの円滑な接続を図ることは重要です。小学校からの学びでは、文字を読んだり書いたりすることは学習における重要なスキルです。文字を読むことから文字学習が始まることを考えれば、読みに教育的なニーズのある子どもに対する早期からの支援は欠かせません。また、読みには様々な認知能力が関係していることから、個別に最適化された支援を行うためには、読みに関する認知能力の実態を正確に把握する必要があります。現在、就学児に対する読みのスクリーニング検査は作成されていないことから、その作成は急務であると考えております。

今回のご支援により、幼稚園等の就学前施設において、保育者の読みに関する年長児の行動観察の視点や年長児のひらがな読みに関する実態について把握することができ、スクリーニング検査作成の基礎的な調査を行うことができました。

今後はさらに研究を進め、読みに困難が予測される就学児の早期発見と個別に最適化された支援につなぐスクリーニング検査の完成を目指していきたいと思っております。

本研究の遂行にご支援を頂きました、日本私立学校振興・共済事業団とその関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

太田 奈保美

岡山理科大学 獣医学部 助教

〔研究課題名〕

抗生物質が腸内における細菌間プラスミド伝達に与える影響の解明



寄付者の皆様へ〔御礼〕

薬剤耐性菌の問題は新型コロナウイルス禍にある現在、影を潜めているように見えますが、肺炎による二次感染の予防のために抗生物質を使用することも多く、アフターコロナの薬剤耐性菌の動向に注視する必要があると予想されます。今回の研究は主に食肉や糞便などから分離された大腸菌、サルモネラ属菌そして腸内細菌を用いて進められましたが、プラスミドの伝達による薬剤耐性菌の拡大は様々な環境下で起きるものと考えられます。

本研究へのご支援をいただいたことは、研究者としてこれからの研究の方向性を決めるための重要な機会となりました。

小さな研究成果ですが、実験の結果を真摯に受け止めて進んで参りたいと思います。

採択を決定して下さった日本私立学校振興・共済事業団の皆様並びにご寄付をいただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げますと同時に今後も若手・女性研究者へのご支援をいただきますようお願い申し上げます。

藤尾 かの子

エリザベト音楽大学 音楽学部 講師

〔研究課題名〕

「保育の質」確保・向上のための音環境整備に関する研究

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度のご支援を受けることで、モンテッソーリ園における音環境はモンテッソーリの教育思想が深く影響しているということを、客観的なデータのもとで解明することができました。

現代の社会環境は大きな音や騒音で溢れていますが、「失われた聴覚は二度と戻ってこない」と言われることから、私たちは「聴く」ということに対してより一層真剣に考える必要があると考えています。また、私たち大人は、そのような騒音環境から子どもを守るという責任もあると感じています。

子どもにとって音環境は、コミュニケーションをとることや、自らの活動に集中して取り組むこと、また、音や声を聴きながら行う音楽活動を実施する上で重要な役割を果たしています。子どもが保育所や幼稚園で快適に生活し、健やかに成長することができるよう、今後も保育における音環境の視点から研究を継続してまいります。

本研究の遂行にご支援を頂きました、日本私立学校振興・共済事業団とその関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

山本 真衣

久留米大学 循環器病研究所 博士研究員

〔研究課題名〕

腸管IL-22産生が心室拡張不全に与える影響の解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

新型コロナウイルスによる影響で様々な社会活動が制限されている中、奨励金をご支援いただいたことで、新しいテーマに挑戦することができました。

研究を通して、未知へ挑戦することは心踊る活動であると同時に、不安との戦いでもあります。そのような日々の中で生み出した申請書に対して、選考委員の先生方から研究の着眼点や独創性、発展性を評価していただいたことに大変励まされ、感謝しております。

これからも挑戦を続けて行きたいと思えます。

今後ともどうかご支援、応援をお願い致します。

この度はご支援頂き、本当にありがとうございました。

小川 美香

福岡歯科大学 麻酔管理学分野 助教

〔研究課題名〕

クラスター分析による歯科恐怖症の新たな病型分類の開発
－ 感覚処理パターンの違いに注目して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

私は治療が怖くて受けられない患者に、優しく治療を行いたいと歯科医師を目指しました。臨床実習で歯科麻酔に出会い、治療を提供する薬理的アプローチとして、全身麻酔や静脈内鎮静法を行ってきました。やりがいもあり患者様からも喜ばれる一方で、もっと歯科治療に対する恐怖心の根本を理解し、解決していきたいと思うようになりました。

大学院時代に参加した国際学会で、欧米では歯科医師と臨床心理士が連携しDENTAL FEAR/ANXIETYに対する心理学的アプローチや研究が盛んに行われていることを知り、日本でも患者様の恐怖心に寄り添った治療法が提供できるよう研究を行いたいと思いました。

本奨励金に採択されたとき、私の考えを理解していただけたと、とても心強く、研究へのモチベーションが高まりました。

ご支援いただきました日本私立学校振興・共済事業団の関係各位ならびに奨励金をご寄付いただいた皆様に心より御礼申し上げますとともに、研究成果を社会に少しでも還元できるよう研究を続けていく所存です。